

【児童へのお話】

3月も半分を過ぎました。今週の学校生活は4日間、来週は修了式と卒業式の2日間しかありません。皆さん、学習や生活のよいまとめができていますでしょうか。

この時期に、4月からの目標をしっかり立てておくと、進級、進学してからのよいスタートが切れると思います。先生方と一緒にこの1年を振り返り、自分をよりよくする有意義な6日間としてください。6年生は、自分の卒業を自分自身が一番お祝いできるよう、穏やかに過ごし、ステキな姿を下級生に見せてあげてください。

今日は、「ソクラテスの言葉」について、お話しします。

ソクラテスは、今から2500年ほど前の、古代ギリシアの哲学者です。「汝 自らを知れ」や「無知の知」などの言葉がとても有名で、生き方についての格言が多くあります。今日はそのひとつを、皆さんに紹介します。それは、『簡単すぎる人生に、生きる価値などない』という言葉です。結構強烈なインパクトのある言葉ですね。校長先生のお仕事に結び付けて考えてみます。

校長先生は、普段お仕事をしながら、「この仕事、どうするのがいいかな？」と考えることがあります。楽なのはそのお仕事をしないこと。でもそれでは、学校はちっともよくなりません。むしろ悪くなってしまいます。

次に楽なのは簡単に済ませること。でもそれでは、学校が今よりよくなることはありません。

では、どうするか？答えは、『大変でも、苦労が多くても、一番よいと思う方法を選ぶこと』になります。何事も簡単に済ませていては、価値ある仕事や生き方にはなりません。ましてや自分の人生をピカピカにするための努力を惜しんでどうするんですか？と、この言葉は私たちに語りかけているように、校長先生には思えます。そしていつも、楽で簡単すぎる選択をしていないだろうか、と自分に問いかけるようにしています。

あと2週間で4月です。4月から皆さんは、新しい環境での生活が始まります。時には、友だちとの関係作りや学習で、いやで面倒で逃げたくなることにも遭遇します。そんなとき、このソクラテスの、「簡単すぎる人生に、生きる価値などない」という言葉を思い出してみてください。校長先生の大好きな番町の皆さんには、自分を成長させるために努力し、自分の人生の価値を自分で決められる、ステキな人になって欲しいと願っています。

今日は、「ソクラテスの言葉」について、お話ししました。

【本講話について】

いよいよ本年度の教育活動が残り6日間となりました。教職員一同、子どもたちの様子をよく見ながら、気持ちよく卒業、進級ができるよう、一日一日を大切に過ごしているところです。

私が6年生の担任を務め、卒業間近になった頃、「顔も名前も忘れていいけど、教えたことは忘れないでほしい」と伝えたのを、昨日のここのように覚えています。子どもが自分を高めるための努力を重ね、大きく成長するための礎を築くのが小学校の場です。毎日が待たなしの小学校生活、「楽しかった」「いいことがあった」と感じてくれていると嬉しい限りです。